



【製造業用/大地震版】 初めてでも簡単！BCP策定シート

年 月 日 策定・改訂

(解説)初めてでも簡単！BCP策定シートは、山形県内の中小企業、小規模事業者のBCPの取り組みの第一歩を後押し、分かりやすく簡単にBCPを策定いただく意図で作成しました。

1. 基本方針

大地震発生時には、以下の基本方針に則り対応する。

- 社員（役員・従業員）の人命を守る
- 重要業務を継続しサプライチェーンの維持に貢献する
- 地域社会の復興に貢献する

2. 被害想定

想定地震 ○○断層帯による地震、想定震度 震度6強

社会インフラの中断（電力・通信:3日間、交通・その他:2週間）、事務所半壊、工場半壊、設備の倒壊、80%の在庫・仕掛品の損壊

※新耐震基準を満たしていない建物の場合は、全壊となる想定も必要です。

5. 対応手順

(対策本部を立ち上げ、以下の手順で対応を実施します。)

直後から可能な限り速やかに
(1)大地震発生直後

①避難

基準	大きな揺れを感じたとき（建物が新耐震を満たしていない場合）、火災の発生、建物の損壊
避難場所	屋外駐車場（津波の危険がある場合は津波避難経路を使って高台の○○公民館へ）
②救助・負傷者対応	
救助・応急処置 道具の所在	総務部キャビネット3番
救急搬送先①	○○総合病院 (TEL: 123-4444)
救急搬送先②	○○第一病院 (TEL: 123-5555)

3. 対応責任者

統括責任者	全社的な意思決定を行い、対応全体を統括する。
○○○○ 社長（代行者 ① ○○専務、② ○○常務）	
本社機能 維持担当	安否確認や安全確保等、本社機能の維持に関する実務を指揮する。
総務部 ○○○○ 部長（代行者 総務部 ○○ 次長）	
事業継続 担当	重要事業の継続に関する実務を指揮する。
製造部 ○○○○ 部長（代行者 製造部 ○○ 次長）	

4. 重要業務、目標復旧時間

重要業務	最重要顧客A社への製品Xの供給
目標復旧 時間	1週間 (A社からの要請による)

直後から可能な限り速やかに
(2)初動対応フェーズ

①状況確認

統括責任者	
本社機能維持 担当	
<メンバー> ・総務部○○部長 ・人事部○○部長 ・情報システム部○○部長	
確認対象	担当者（部門）
役員・従業員（含む家族）の安否	人事課 ○○課長
建物・設備（含むIT）状況	総務課 ○○課長
その他事業資源（在庫・原材料）状況	製造部 ○○部長
顧客の状況 ※「顧客リスト」参照	営業部 ○○部長
取引先の状況 ※「取引先等リスト」参照	調達部 ○○部長
社会インフラ（電力・通信・交通等）状況	総務課 ○○主任
その他	資金調達の対応 総務部 ○○課長
その他	

②帰宅許可

基準	帰宅までのルートの安全が確認されており、日没までに徒歩帰宅が可能で、自治体から帰宅抑制要請が出されていないこと
対象者	主任以下の従業員のうち、状況確認・事業継続に重要な役割を持たない者（帰宅ルートの安全が確認できない者・体調不良者は除く）
留意点	・帰宅時に水、食料を持たせる。 ・帰宅後、安否状況を報告させる

③備蓄品の状況

品名	数量	品名	数量
ヘルメット	70個	乾電池	20本
飲料水※	630L	トイレットペーパー	70個
食料※	630食	ガムテープ	10個
毛布	70枚	非常用発電機	1機
救急箱	3箱		
救助用工具	2セット		
簡易トイレ	800回		
携帯ラジオ	3台		
懐中電灯	20台		

※飲料水（3L/日・人）と食料は最低3日～7日分を準備します。

直後から可能な限り速やかに
(3)事業継続フェーズ

①重要業務の継続

統括責任者

事業継続担当

<メンバー>

- 生産管理部
○○部長
- 製造部○○部長
- 製造部○○課長
- 製造部○○課長
- 検査課○○課長
- 出荷課○○課長

対応戦略	被害の大きさに応じて①現場復旧か、②提携先のB製造(株)（○○県○○市）に代替生産を依頼するか、決定して対応する		資源の脆弱性 (ボトルネック)	工場の製造機械、工場勤務者（人数）、C化学（○○市）から仕入れている材料Yの調達	
対応手順	対策本部（総務）		調達部門		生産管理・製造部門
情報収集	・顧客の被災状況、稼働状況、要求事項の確認 ・工場の被害・復旧見込みに関する情報を収集 ・工場勤務者の勤務可能者に関する情報を収集 ・原材料・部品等資材の調達可能性の情報を収集		・原材料・部品等資材の在庫、調達先企業の生産能力および倉庫・運送会社など物流の被害情報を収集 ・不足する部材等の明確化 ・代替調達先の検討		・工場の建物・製造設備の被害状況、復旧見込みの確認 ・最重要顧客A社への製品Xの生産方針検討 ①1週間で工場の復旧が可能な場合 →現場の早期復旧に取り組む ②工場の復旧に1週間以上かかる場合 →代替生産に切り替える
	戦略決定		・部材等の代替調達先について対策本部と協議、支援要請		・工場の生産方法に関して対策本部と協議 ・対策本部の決定に対して必要な支援を要請
実施	・工場または代替生産先における生産活動の支援 ・工場の建物・生産設備の復旧工事の手配		・生産方針に応じた輸送先の変更 ・代替調達開始		・工場の生産(代替工場への支援) 開始 ・工場の復旧工事開始

6. 資金調達

必要な資金	概要	予想資金（3ヵ月）
(A) 経営維持費用	従業員への給与の支払い	6,000 万円
	買掛金の支払い	6,000 万円
	金融機関からの借入金の返済	13,500 万円
	その他	500 万円
(B) 災害復旧費	被災建物・設備の復旧	5,000 万円
	その他 事業継続対応要員の宿泊・食事	200 万円

調達可能な資金	概要	予想資金（3ヵ月）
(C) 利用可能な手元資金（現在の現預金）		8,000 万円
(D) 回収可能な売掛金		11,000 万円
(E) 公的機関の特例貸付	中小機構の特例災害時貸付を想定	2,000 万円
(F) 地震保険	○○損害保険会社の地震保険	最大5,000 万円
必要な資金	(A) + (B)	25,200 万円
調達可能な資金	(C) + (D) + (E) (F)	26,000 万円

7. 事前準備

(1)大地震発生直後

	チェック	できていない場合
救助・応急処置道具の整備	✓	までに対応する
避難ルートマップの作成		20XX年XX月末までに対応する
社内連絡網の整備（最新版に更新）		20XX年XX月末までに対応する
		までに対応する

(2)初動対応フェーズ

	チェック	できていない場合
「顧客リスト」の整備（最新版に更新）		20XX年XX月末までに対応する
「調達先等リスト」の整備（最新版に更新）		20XX年XX月末までに対応する
備蓄品の整備（在庫の量および消費期限切れがないか確認）		20XX年XX月末までに対応する
インフラ供給の確保の準備（電気、ガス、重油、水の確保が可能か調査し準備する）		までに対応する

(3)事業継続フェーズ

	チェック	できていない場合
A社と災害時対応について確認（A社の在庫状況等の確認）		20XX年XX月末までに対応する
B製造と代替生産に関わる手順等確認		20XX年XX月末までに対応する
C化学から仕入れている材料Yの代替調達先を見つける		20XX年XX月末までに対応する
○○損害保険の地震保険を契約		20XX年XX月末までに対応する



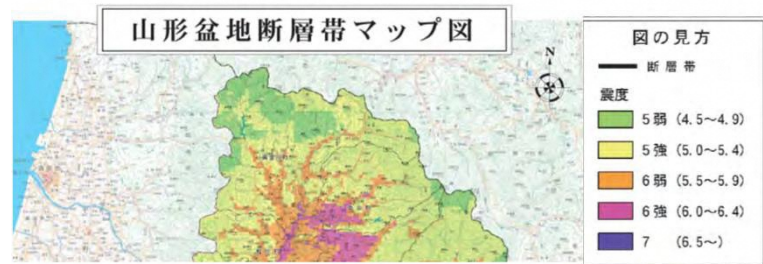
(解説)初めてでも簡単！ B C P 策定シートは、山形県内の中小企業、小規模事業者のBCPの取り組みの第一歩を後押し、分かりやすく簡単にBCPを策定いただく意図で作成しました。

I. 本社・事業所の被害想定

No	種別	拠点名称	拠点住所	避難場所	地震ハザードマップでの震度(注1)	30年震度6弱以上の揺れに見舞われる確率(注2)
1	本社	〇〇本社	〇〇県〇〇市〇〇1-2-3 〇〇ビル〇階	〇〇小学校	6強	8.5%
2	営業所	〇〇営業所	〇〇県〇〇市〇〇4-5-6 〇〇ビル〇階	〇〇公園	6強	10.2%
3	営業所	〇〇営業所	〇〇県〇〇市〇〇7-8-9 〇〇ビル〇階	〇〇公園	5弱	0.4%
4	営業所	〇〇営業所	〇〇県〇〇市〇〇7-8-9 〇〇ビル〇階	〇〇公園	6強	9.2%
5	営業所	〇〇営業所	〇〇県〇〇市〇〇7-8-9 〇〇ビル〇階	〇〇小学校	5強	5.4%
6	工場	〇〇工場	〇〇県〇〇市〇〇1-2-3 〇〇	〇〇小学校	6強	12.2%
7	工場	〇〇工場	〇〇県〇〇市〇〇1-2-3 〇〇	〇〇小学校	5強	6.5%

注1：地震ハザードマップから最大震度を調査する。

- 山形県内の地震ハザードマップにアクセスする。
<https://www.pref.yamagata.jp/ou/kendoseibi/180025/taisin/seismicmap.html>
- 山形県内において地震が予測されている「山形盆地断層帯」、「長井盆地西縁断層帯」及び「庄内平野東縁断層帯」の地震ハザードマップを確認し、各拠点の震度を上表に記載する。



注2：J-SHIS地震ハザードステーションから拠点が大きな地震動に見舞われる危険度を調査する。

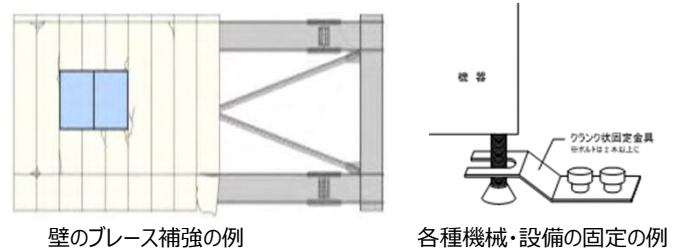
- 防災科研のJ-SHIS地震ハザードステーションにアクセスする。
<http://www.j-shis.bosai.go.jp/map/>
- マップ上部のタブを「30年震度6弱以上の揺れに見舞われる確率の分布図」に変更、ページ左上の検索欄に各拠点の住所を入力し、「場所を検索」を選択する。
- 「検索結果」のウィンドウが表示されるので、拠点の住所をダブルクリック、地図上に表示される青点が拠点場所であることを確認し、青点をダブルクリックする。
- 「拠点情報 確率論的地震動予測地図」のウィンドウが表示されるので、「震度6弱以上となる確率」の数値を上表に記載する。各拠点について②から実施する。



II. 本社・事業所の耐震補強

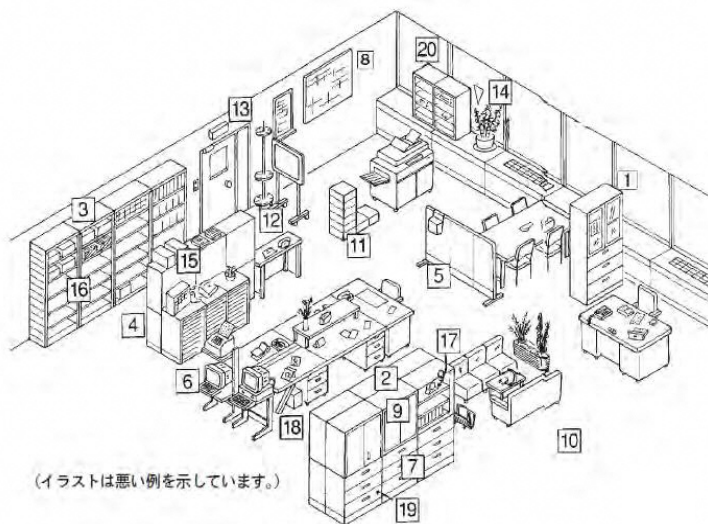
1. 基本的な耐震対策

- 建屋の堅牢性確保のための対策（耐震診断～耐震対策）
＊S56年の新耐震基準を満たしていること。そうでない場合は耐震補強工事が必要。
- ガラス飛散防止、オフィス什器備品・P C等転倒防止のための対策
- 各種機械・設備（精密機器、自動倉庫、商品棚等）の固定化などの耐震強化対策



2. オフィスでの減災対策例

オフィス内の転倒・落下防止対策チェックリストを活用して確認する。



(イラストは悪い例を示しています。)

出典：家具類の転倒・落下防止対策ハンドブック（東京消防庁）

項目	チェック
1 背の高い家具を単独で置いていない。	
2 安定の悪い家具は、背合わせに連結している。	
3 壁面収納は、壁・床に固定している。	
4 二股重ね家具は、上下連結している。	
5 ローバーテーションは、転倒しにくい「コ」の字型「H型」のレイアウトにしている。	
6 O A 機器は、落下防止対策をしている。	
7 引出し、扉の開き防止対策をしている。	
8 時計、額縁、掲示板等は、落下しないように固定している。	
9 ガラスには、飛散防止フィルムを貼っている。	
10 床につまずき易い障害物や凸凹はない。	
11 避難路に、物を置いていない。	
12 避難路に、倒れやすいものはない。	
13 避難出口は、見えやすい。	
14 非常用進入口に、障害物はない。	
15 家具類の天板上に、物を置いていない。	
16 収納物がはみ出したり、重心が高くなっていない。	
17 危険な収納物（薬品、可燃物等）がない。	
18 デスクの下に、物を置いていない。	
19 引出し、扉は必ず閉めている。	
20 ガラス窓の前に、倒れやすいものを置いていない。	

III. 参考資料

- 山形県地域防災計画：山形県の防災に関する総合的な計画。
<https://www100.pref.yamagata.jp/020072/bosai/kochibou/bousaijouhou/bousaikaigi/bousaikaikaku.html>
- こちら防災やまがた！：山形県の地震や大雨などの災害情報や防災情報が幅広く紹介
<https://www.pref.yamagata.jp/bosai/>